

---

# この世で一番、大切な花。

ユウラ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

この世で一番、大切な花。

### 【Nコード】

N7035I

### 【作者名】

ユウラ

### 【あらすじ】

今年も咲くかな？

俺の、大切な花…。

事故で意識不明の幼なじみのために、毎年花を咲かせる主人公。初小説なので、下手くそな文章が苦手な方はご遠慮下さい。

## (前書き)

ども。ユウラって言います。

小説なんて書くの初めてなんです、是非とも暖かい目で見てやって下さい。

今年も咲くかな？

俺の大切な花…。

「もうすぐ春だな…。」

そんな事をぼんやりと思いつつ、布団から抜け出す。

もう2月の半ばだが、朝は少し肌寒い。

服を着替えるのも、朝食を食べるのも億劫だ。

だが服を着替えないとどこにも行けないし、朝食を食べないと腹が減る。

面倒だと思いつつも腹の虫に負けて朝食をとる。

「うま…」

いつも朝はきまってトーストとミルク。

白米なんかとてもじゃないが食べる気になれない。

「さて、じゃあ忘れないうちにやるかな。」

まあ忘れるわけないけど。

と思いながらじょうろに手を伸ばす。

その中に水を入れて目的の場所に行き、水をかける。

これが毎朝の日課。

花の水やりだ。

別に花を育てる趣味があるわけじゃない。

この花は、特別な花なんだ…。

「はい、これあげる。」

そう言つて花の種を渡されたのは四年前。

俺の幼なじみがくれた。

最初は育てる気なんて全然なかった。

でも、幼なじみが事故で意識不明になつて、やっぱり育てる事を決めた。

決意早いなあとか、いきなりだなあとか自分でも思ったが、育てたら幼なじみは起きてくれるんじゃないかというよくわからない気持ち込み上げてきて、いてもたってもいられなくなった。

それから、花は毎年綺麗に咲く。藍色の鮮やかな花だ。

花が咲く度、起きたかな、という期待が高まるのだが、相変わらず変化はない。

「今年は、起きるといいなあ。」

もし起きたら、この花を見せて毎年綺麗に咲いてると自慢しよう。

きつと、私も見たかったと意識不明だった時の事を悔しがるだろう。そこまで考えて、頬が緩む。

ああ、早く。

早く咲かないかな。

そしたらきっと。

君に会える。

(後書き)

どうだったでしょうか？

意味不明なうえに文章まとまってませんが…。

感想とか、あったら嬉しいです。

未熟者なので、アドバイスや、誤字脱字の報告でも嬉しいです。

では、また名前を見かけた時は宜しくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7035i/>

---

この世で一番、大切な花。

2010年10月20日15時07分発行